

松宮 宏

28期

小説家 大阪芸術大学短期大学客員教授



青春は遠い昔ですが、まあ、シラケ世代でしたね。事実をほぼ含まない自己紹介ではじめた高校生活。これとって何もない日常に、授業を抜け出して、イズミヤでボクシング見て（2年生の時「キンシャサの奇跡（アリvsフォアマン）」という世紀の一戦があったんですよ。平日の午後に生中継で）教室へ帰ってきたらどひゃーと怒られました。学校近くの雀荘にも通いました。「警察来たらやばいで」と話していたら店主が「隣で打ってるの警官や」と、おおらかな時代でした。軽音で歌作ってギター弾いて、学外の同級生たちとコンサートをやりました。そう言えば湊町に「ディラン」という喫茶店があったなあ。そこでオーディションも受けましたね。大学卒業後はファッションビジネスに関わって、80～90年代は面白いこといろいろやりました。世界中回りました。大都会も僻地も西側も東側も熱帯も南の島も。アメリカには通算5年いました。ニューヨークで起業したのですが、行き詰まっていたへんでした。僕はビジネスマンとしてはぜんぜん成功していないけれど、世界中の人に会い、多様な人生があることを教えられました。家庭もでき、家も買え、アメリカで社長になったり、今は小説を書き、大学でデザイン戦略などを教えています。振り返れば高校時代の、これとって何もない日常があったからこそ、こんな今がある。あらためて思う次第です。

創立100周年、おめでとうございます。

■プロフィール

大阪市立大学文学部心理学専攻卒業

1980年 株式会社ワールド入社

2000年 ITベンチャーを経て、2003年ニューヨークで起業。

帰国後アパレルに復帰し、空間デザイン、コミュニケーションデザイン、ブランドビルディングに関わる。

著作（小説）

「こいわらい」「燻り亦蔵」（マガジンハウス）「秘剣こいわらい」「くすぶり亦蔵」「さくらんぼ同盟」（講談社）「はるよこい」（PHP）「まぼろしのパン屋」「さすらいのマイナンバー」「まぼろしのお好み焼きソース」（徳間書店）「スマイル」（MANA）

* 「こいわらい」はNHKテレビでドラマ化。「まぼろしのパン屋」はNHKラジオ深夜便で朗読される。

教育

大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科客員教授。大阪市立デザイン教育研究所非常勤講師デザインストラテジー担当。

青山学院大学総合文化政策学部協力教員。流通科学大学非常勤講師。